

WICI シンポジウム 2011 の開催にあたって

World Intellectual Capital/Assets Initiative(WICI、<http://www.wici-japan.com/>)は、2007年の設立以来、企業の価値創造過程について投資家をはじめ広くステークホルダーの適確な理解を促し、合理的な意思決定に結びつけるため、望ましい企業開示のフレームワーク、XBRL タクソノミ、KPI の考え方の整理、業種別の KPI 等を開発し提供することを通し、企業の自主的な開示を支援する活動を行ってきております。

先般の金融危機においても証明されたように、企業活動の実態や企業の実力は伝統的な財務報告では表現できない部分が多く、企業活動の本質である価値創造のやり方、社会とのインタラクション、企業統治といった持続性を持つ企業の個性ともいべき非財務要素が極めて重要です。WICI の活動は、企業経営に関する各種データが電子化され、加工が容易になってきているという環境変化の中で、財務要素と非財務要素を統合して、企業の実質により焦点を当てた統合的報告を目指すものであり、企業活動の将来を見通すことを容易化させるものです。

リーマンショック以降、世界においても、WICI の活動と呼応するように、2010年8月には、企業開示に関与する人々(企業、利用者側の機関投資家、規制・基準設定機関、監査法人など)により、International Integrated Reporting Committee(以下 IIRC)が設立されました。9月には「統合報告フレームワークの討論ペーパー」が示され、広く関係者の意見聴取が始まるとともに、企業による先行的開示のプロジェクトも開始。2-3年以内に新たな枠組みがまとまる見込みです。WICI も IIRC の事務局への支援を含め、そのコンセプトを IIRC を通じてさらに普及させていくことに努めてきております。

統合報告の実践は、企業とステークホルダーとの間で、長期的視点に立った共通の理解を醸成するとともに、内部管理と外部説明の一貫性を向上させることにもなり、意思決定の妥当性とスピードを高めることにもつながります。同時に、企業の本業部分により焦点を当て、既存の開示資料の重複が整理され、企業の情報作成コストの合理化も図られることが期待されます。

こうした新しい世界の動きを踏まえ、12月1日に、第4回となる WICI シンポジウム2011を、「統合報告時代における戦略的企業経営」の統一テーマのもと開催することとなりました。(次頁にプログラム案)

内外から関連する分野の牽引者である方々にお集まりいただき、深い議論を通じて日本らしい考え方を世界にインプットしていくための場になれば、と考えますので、趣旨にご賛同賜り、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

2011年9月 吉日

World Intellectual Capital/Assets Initiative

会	長	住	田	孝	之
プロモーティング・パーティー		平	塚	敦	之
	同	花	堂	靖	仁

WICI Symposium 2011 統合報告時代における戦略的企業経営

主催: World Intellectual Capital/Assets Initiative および早稲田大学知的資本研究会

後援: 経済産業省

開催日: 2011年12月1日

会場: 早稲田大学小野記念講堂

- 9:30-9:35 **開会の辞** WICI-Japan 会長
- 9:35-9:45 **来賓挨拶** 日本公認会計士協会(依頼中)、XBRL ジャパン(依頼中)
- 9:45-10:15 **基調講演「統合報告の展開に向けてーWICIの役割と課題(仮題)」**
WICI Global 会長 住田 孝之
- 10:15-11:30 **セッション1 「国際統合報告委員会の役割と動向」**
発題者 森 洋一 日本公認会計士協会
パネリスト 加賀谷 哲之 一橋大学准教授
木下 由香子 JBCE・CSR 委員会委員長/日立製作所
松島 憲之 日興シティグループ証券
好田 健祐 あらた監査法人
司会 三代 まりこ WICI-Global 研究員
- 11:30-12:45 **セッション2 「統合報告時代におけるコーポレート・ガバナンスの新局面」**
発題者 長友 英資 早稲田大学ビジネススクール客員教授
パネリスト 高山 与志子 ICGN 理事
船橋 晴雄 シリウス・インスティテュート
毛利 正人 有限責任監査法人トーマツ
吉田 明世 太陽 ASG 有限責任監査法人
司会 花堂 靖仁 早稲田大学ビジネススクール教授
- 12:45-14:00 昼食休憩
- 14:00-15:15 **セッション3 「統合報告時代における IR の新たな機能」**
発題者 近藤 成径 第一三共株式会社
パネリスト 本多 淳 ジーアイアール
(選考中) 新日本有限責任監査法人
三宅 茂 日本 IR 協議会
加藤 正裕 三菱UFJ信託銀行
司会 鈴木 行生 日本ベル証券投資研究所

15:15-16:30 **セッション4 「統合報告時代における XBRL による企業データの提供」**
発題者 Mike Willis Emeritus Chair of XBRL International Steering Committee
パネリスト 篠井 大祐 XBRL ジャパン
小泉 誠 富士通総研株式会社
花田 亜希子 有限責任あずさ監査法人
(選考中) 日本オラクル株式会社
坂上 学 法政大学経営学部教授
司会 野村 直秀 Accenture 株式会社

16:30-16:40 休憩

16:40-18:10 **総括パネル「統合報告時代における戦略的企業経営」**
企業 昆 政彦 住友スリーエム株式会社
証券アナリスト 山本 高稔 日本証券アナリスト協会検定アナリスト
公認会計士 藤原 誉康 WICI ジャパン理事
学界 古賀 智敏 同志社大学大学院商学研究科教授
WICI 住田 孝之 WICI Global 会長
司会 平塚 敦之 経済産業省

18:10-18:15 **閉会の辞** 早稲田大学知的資本研究会代表

以上